

オーストリア・ルーデッシュ村の木造2階建て（地下1階）役場で、延べ面積3,135㎡、図書館や幼稚園も併設されています。人口2000程の村で住民参加による計画から設計までに数年掛けて、その後1年半の工期で2005年に竣工、建築時・使用時・解体時の省エネも考慮した設計で、年間一次エネルギー消費量や冷暖房負荷等で規定されたパッシブハウス基準を達成しているとのこと。屋根の断熱材は、ロックウール36cm+羊毛5cmもの厚さがあります。太陽光発電や太陽熱温水器パネルもあり、バイオマスボイラーによる地域暖房、地下水熱利用や熱交換換気システムも導入されています。可動間仕切壁で部屋のレイアウト変更を可能とする為に、構造的には木造の中に一部RC造や鋼管柱も併用されています。鉄骨造の広場屋根の柱（上写真参照）は、雨樋も兼ねているとのこと。内外装に無塗装のシルバーファー（マツ科）が用いられていますが、築8年でも反り狂いがほとんどない状態でした。含水率管理された良材が使われたものと思われる。色は次第に赤みを帯びてくるそうで、現在はもっと変退色が進んでいることと思われる。

（写真撮影日：2013.10.10）



無塗装のシルバーファー



集成材片持ち梁構造の階段



大きな空間を間仕切で区画



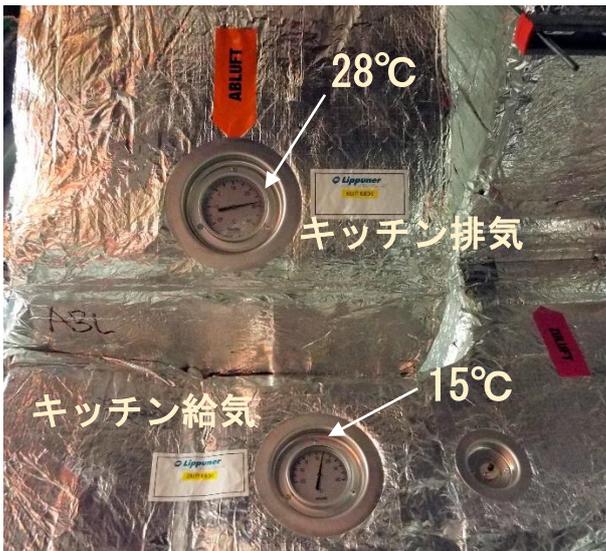
一部にRC造の壁（水平力負担）も



内装にも無塗装木材を多用



鋼管柱も併用されている



雪がちらつく中、熱交換換気で、外気が15°Cまで温められて供給されていた



セルロースファイバーや羊毛が壁の断熱材として使用されている。羊毛はネズミ除けの効用もあるとのこと

ルーデッシュは、オーストリア最西部のフォアールベルク州にあり、リヒテンシュタインとの国境まで10km 少しというところにあります。おもしろ建築物紹介その6のライフサイクルタワー（ドルンビルン）からも直線距離は25km程です。周囲に山を望む盆地状の地形ですが、切妻屋根の木造2階建て住宅が並び、平坦な田園風景が広がっています。この役場は、ルーデッシュ鉄道駅から北東に2km程、緩やかな坂を上ったところにあります。